

事務事業名		観光施設維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興			
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 - 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 07 01 04 11 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	商工港湾部観光推進室		総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	
	課長名	鈴木 弘			
	係名	電話	27-3111		
	担当者	佐々木 勇真	内線		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内の公衆トイレ、キャンプ場等を良好な状態で維持管理するとともに基石園地など観光地の草刈、支障木の伐採など観光施設の維持管理を行う。なお、東日本大震災津波により海水浴場の砂浜、トイレ・シャワー室は流失したが、越喜来浪板海水浴場及び吉浜海水浴場のトイレ・シャワー室を整備し、平成30年度に供用開始。 内容 ・基石海岸キャンプ場及びトイレ浄化槽他の管理業務 ・清掃用消耗品の購入 ・観光地草刈及び公衆トイレ等清掃業務 ・岩手の国立公園をきれいにする会大船渡支部負担金交付 ・観光施設の光熱水費支出 ・基石椿園樹木管理業務 ・自然公園保護管理及び基石・綾里園地内施設管理業務 ・観光施設用地の賃貸借 海水浴場施設清掃及び監視・海中ガレキ調査 事業費 ・旅費 ・需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 役務費(手数料、火災保険料) ・委託料 使用料及び賃借料 ・負担金補助及び交付金					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位 ア 草刈り・清掃回数(1施設あたり) 回 イ 保守点検回数(1施設あたり) 回 ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		名称 単位 カ 維持管理が必要な観光関係施設数 施設 キ 観光客入込数 千人 ク	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内観光関係施設 観光客		名称 単位 サ 苦情・不具合件数 件 シ 苦情及び巡回による不具合対応率 % ス	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
適切に維持管理される。 安全で快適に利用してもらう。		名称 単位 サ 苦情・不具合件数 件 シ 苦情及び巡回による不具合対応率 % ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
大船渡市を訪れる。 魅力がPRされ、認知度が高まる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度					
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	2,679	2,355	2,548	2,365	2,355	2,355
		地方債	千円						
		その他	千円				190		
		一般財源	千円	12,098	10,935	11,293	10,990	8,859	8,859
		事業費計(A)	千円	14,777	13,290	13,841	13,545	11,214	11,214
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	128	128	128	128	128	128
		人件費計(B)	千円	512	512	512	512	512	512
		トータルコスト(A)+(B)	千円	15,289	13,802	14,353	14,057	11,726	11,726
⑤活動指標	ア	回	180	180	180	180	180	180	
	イ	回	6	6	6	6	6	6	
	ウ								
⑥対象指標	カ	施設	7	7	9	8	10	10	
	キ	千人	882	730	707	1,200	1,200	1,200	
	ク								
⑦成果指標	サ	件	15	0	4	0	0	0	
	シ	%	100	100	100	100	100	100	
	ス								

事務事業ID	0465	事務事業名	観光施設維持管理事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和39年に陸中海岸国立公園に碓氷海岸が編入されたことを契機として観光客が増加。その利便を図るための観光施設整備に付随し維持管理が必要になった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
施設の経年劣化があり、特に利用者の多い公衆トイレでは消耗している部品の修理、交換が多くなってきている。
きれいで施設が整備された観光地に観光客が集まるようになった。
平成28年度、商工港湾部内の組織機構の見直しにより観光推進室が新設された。(平成27年度までは商業観光課観光物産係が担当)
環境省による碓氷海岸集団施設地区復旧・再整備事業(インフォメーションセンター、オートキャンプ場、乱曝谷展望台、普通自動車駐車場、大型バス駐車場)が平成24年度末から着工し平成26年度で完了した。さらに、碓氷海岸レストハウスは機能強化工事を平成29年度に終えた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
東日本大震災で被災した海水浴場(越喜来浪板、綾里、吉浜)のトイレ・シャワー室の早期復旧が要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 観光施設を良好な状態で維持管理することにより、観光客の利便を図ることとなるほかイメージアップにもなり、リピーターの増加に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共施設を良好な状態で維持管理することは市の義務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象は市内観光施設であり、その維持管理を行うことで間接的に観光客を対象とする事業である。修繕工事等によって施設の維持管理を図るため、意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 故障等が発生した場合には修繕を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 本事業を廃止・休止した場合、施設を良好な状態で維持できなくなり、苦情や不具合が増加すると考えられる。結果的に観光客の減少に繋がる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門的な知識・能力が必要なものを以外は職員で対応しておりコストを低く抑えていることから、これ以上の削減は出来ない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 コスト低減のために専門能力以外は職員で対応しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 観光客をはじめ、施設を利用するすべての人が受益者であり公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
<p>① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p>	<p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 (一社)大船渡市観光物産協会の観光支援員と連携し、観光施設を定期的に巡回点検し、不良箇所の早期発見、対応をしていく。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
<p>① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止</p>	<p>・市観光物産協会と連携し、定期的な巡視等を行いながら、不具合箇所については迅速な対応に努める。</p>